

徳島県上勝町 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年(目標値)	達成度 (%)
1	葉わさび出荷数量【2.3、2.4、15.2】	2021年3月 3,400 kg/年	2021年 4,426 kg/年			2030年 12,000 kg/年	12%
2	林間葉わさび作付面積【2.3、2.4、15.2】	2021年3月 500 ㎡(累計)	2021年 500 ㎡(累計)			2030年 1,000 ㎡(累計)	0%
3	新規就農者数【8.3、8.9】	2021年3月 9 経営件数(累計)	2021年 11 経営件数(累計)			2030年 15 経営件数(累計)	33%
4	新規起業家人数【8.3、8.9】	2021年3月 12 人(累計)	2021年 13 人(累計)			2030年 15 人(累計)	33%
5	起業家型人材の地域へのマッチング数【8.3、8.9】	2021年3月 24 人(累計)	2021年 24 人(累計)			2030年 60 人(累計)	0%
6	ヘルスツーリズム受入数(年間)【3.4、8.9、15.2】	2021年3月 78 人/年	2021年 200 人/年			2030年 300 人/年	55%
7	町の資源を活用した健康プログラム開発件数【3.4、8.9、15.2】	2021年3月 3 件(累計)	2021年 2 件(累計)			2030年 15 件(累計)	-8%
8	ローカルベンチャースクール開催数【4.4、8.3】	2021年3月 2 回/年	2021年 0 回/年			2030年 4 回/年	-100%
9	町産材を活用した建築物の増【11.c】	2021年3月 1 件(累計)	2021年 1 件(累計)			2030年 5 件増(累計)	0%
10	ゼロ・ウェイスト関連新規事業所数【9.4、12.5、12.a、13.2、17.7、17.17】	2021年3月 6 事業所(累計)	2021年 10 事業所			2030年 15 事業所(累計)	44%
11	ごみのリサイクル率【9.4、12.5、12.a、13.2、17.7、17.17】	2021年3月 80.8 %	2021年 80.0 %			2030年 85 %	-19%
12	くるくるショップの横展開数【9.4、12.5、12.a、13.2、17.7、17.17】	2021年3月 2 件(累計)	2021年 2 件(累計)			2030年 10 件(累計)	0%
13	企業版ふるさと納税寄附企業数【9.4、12.5、12.a、13.2、17.7、17.17】	2021年3月 0 社	2021年 1 社			2030年 5 社	20%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
1	いもどり（葉っぱビジネス）を活用した産業振興事業	いもどり農業等体験プログラムへの参加者数	2021年3月 0 名	2021年 5 名			2023年 60 名	8%
		いもどり農業等体験プログラムの売上創出額	2021年3月 0 円	2021年 0 円			2023年 480 万円	0%
		新規就農者及び彩関連ビジネス創出者数	2021年3月 9 名	2021年 11 名			2023年 12 名	67%
2	ゼロ・ウェイストを活用した産業振興事業	ゼロ・ウェイスト体験プログラム参加者数	2021年3月 0 名	2021年 7 名			2023年 150 名	5%
		ゼロ・ウェイスト体験プログラムの売上創出額	2021年3月 0 円	2021年 0 円			2023年 1,200 万円	0%
		ゼロ・ウェイスト関連新規事業及び事業所数	2021年3月 5 事業(所)	2021年 10 事業(所)			2023年 8 事業(所)	167%
3	森林保全による担い手育成及び脱炭素推進事業	実習森林フィールドの確保面積	2021年3月 0 ha	2021年 0 ha			2023年 20 ha	0%
		森林整備面積	2021年3月 0 ha	2021年 40 ha			2023年 10 ha	400%
		林業家担い手育成者数	2021年3月 0 人	2021年 7 人			2023年 8 人	88%
		2050年カーボンニュートラル協力金(仮称)	2021年3月 0 円	2021年 0 円			2023年 300 万円	0%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No.2：民地及び公共用地で取り組んでいるが、公共用地での圃場については、広めていく用地がないため、民地において、林間でのメリットを広く周知し、取組を推進する。No.5：町内事業所と連携をとり、上勝起業塾を開催し、起業したい人材を募集し、地域事業所とマッチングに取り組む。No.7：コロナ禍もあり、参加者人数が減ってきているため、開発件数が滞っている。コロナ禍でも参加しやすい、少人数体験プログラム等の開発等について取り組む。No.8：町内でスクールの講師を模索したが、適当な人材が見つからなかった。今後は、町外にも目を向け、講師の模索、町内人材育成に力をいれたい。No.9：2022年では1件実績があるが、今後についても積極的に町産材の木材利用を促進する。No.11：概ね達成はしているものの、現状のゴミの分別方法ではこれ以上の目標値に近づけることが困難である。企業連携等により分別技術を高め、目標に近づけたい。No.12：現在くるくるショップの横展開がとまっている状況ではあるが、ゼロ・ウェイストの理念がひろがっているため、再度各市町村の洗い出しを行い、展開していきたい。

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No.1：コロナ感染拡大の影響もあり、思うようにいりどり農業等体験プログラムが実施できていない状況である。また、応募についても少ないため、現在は、無償での実施となっている。今後について、応募人数を増やすことのできる魅力的な内容に見直し、参加者数、売上創出の目標達成を目指す。No.2：コロナ感染拡大の影響もあり、思うようにゼロ・ウェイスト体験プログラムが実施できていない状況である。また、応募についても少ないため、現在は、無償での実施となっている。今後について、応募人数を増やすことのできる魅力的な内容に見直し、参加者数、売上創出の目標達成を目指す。No.3：現在民地のフィールドを確保するため、募集している状態である。少しずつではあるが、候補地もあがっているので、今後も積極的に調査し、実習できるフィールドの面積を増やしていきたい。また、カーボンニュートラル協力金（仮称）については、まだ仕組みづくりに手をつけていないため、今後において、仕組み作りの検討会を実施していく。